

## 令和5年度第8回狛江市立公民館運営審議会会議録

- 1 日 時 令和6年1月23日(火)午後6時30分～8時
- 2 場 所 中央公民館 第3会議室
- 3 出席者 斎藤謙一委員長、岩瀬敏郎委員、内海貴美委員、天野泰子委員、伊東達夫委員、細谷明美委員  
事務局(浅井信治公民館長、瀧川直樹副主幹(兼)事業係長、高橋公平主任)
- 4 欠席者 都築完副委員長、長岡智寿子委員、伊勢亀慎司委員
- 5 傍聴者 0名
- 6 資料  
資料1 第7回公民館運営審議会会議録  
資料2 改修後の市民センターに設置するティーンズルームに関するアンケート(案)  
資料3 武蔵野プレイス施設案内

### 7 議 題

#### <議題>

##### 1 報告事項

委員より、東京都公民館連絡協議会委員部会について報告

##### 2 審議事項

委員

アンケートの実施時期を確認したい。

事務局

実施時期は令和6年2月以降で、インターネットで回答していただきたいと考えている。

委員長

児童館を利用していた子どもが大きくなった時、公民館に来ているのかが知りたい。児童館を利用している子どもは公民館のハードルが低いのではないかと。

委員長

児童館を利用したことがあるか。何回ぐらいか。そこまで聞いてほしい。  
また、公民館の説明をもう少し簡単にして分かりやすくしてほしい。

事務局

職場体験等の説明では、みんなで勉強するところ学ぶところという説明をしている。スタディコーナーもできるので、自由に遊んだり、勉強できるフリースペースのような感じで考えたい。

委員

公民館の地図など案内を載せてはどうか。

委員

児童館は小学生が主に利用している。中学生はあまり利用していないが、体育館、図書館、地域センター等は中学生も多く利用している。

委員

地域センターを利用しているか聞いてはどうか。

委員

1年間と限定しないで、これまで利用したことがあるかという聞きの方が良いのではないか。

委員長

公共施設は小さいときは利用していなくても大きくなると利用しなくなりがちである。公民館を小学生の時に利用していた子どもで、中学生等で他の施設を利用していた子どもがどれくらいいるのかを聞きたい。

委員

自分の意思で来ていたのか、親に連れられて来ていたのか、中高生の答え知りたい。

委員長

子どもの頃に公民館とか児童館を利用していた子どもは、大人になってからも使う人が多いのではないか。

また、児童館、公民館、地域センターで横の連携が弱い。同じようなイベントを行っている場合がある。年齢層に合わせたところすみ分けるのはどうか。

委員

限られた予算で同じことやっているとしたらもったいない。

#### 事務局

例えば、公民館を利用したかどうかについては、「この1年間にある」「1年より前にある」「ない」の3つの選択肢ではどうか。あまり複雑になると回答してもらえない可能性もある。

#### 委員長

「何をする施設か分からない」「興味がない」というのは卵とひよこの関係ではないか。

#### 委員

市民センターの中に公民館と図書館があるが、公民館に来ているのか、図書館に来ているのか意識していない方も多いのではないか。設問の書き方を工夫した方がよい。

#### 委員

タイトルの中の表現は、「改修後の中央公民館（市民センター）」とした方が良いのではないか。

#### 委員

公民館と言っても中央公民館と西河原公民館のどちらか分かりにくい。

#### 委員

公民館は中央、西河原を含めて利用したことがあるかを聞きたい。

#### 委員長

公民館を分かりやすく表現できないか。先日市民大学の公民館に関する講座が延期となったが、こういうことも関係している。うまいキャッチコピーが考えられないか。アンケート設問についてはもう少し精査していきたい。

また、公民館が主催するティーンズ対象の部活動みたいなものができたら良い。今の公民館の利用団体というより、学校の部活動や委員会に近いイメージが良い。何曜日にこういうテーマで活動するということで集めて参加したい子どもが参加できるようなものが良い。例えば、公民館事業で、利用団体にご協力いただきながら、囲碁教室や将棋教室を実際に行っている。西河原では木工教室を利用者さん団体の協力で行っている。そのようなイメージである。

自主グループ化は理想であるが、最初はアドバイザーが必要だと思う。部活動でも顧問がいる。

#### 委員

他には技術の時間も週1回程度しかやってないので学校外で体験させてあげたい。漫画やイラスト、鉄道も関心がある。

委員

シルバー人材センター等の高齢者にアドバイザー的に入ってもらっても良い。

委員

お金や投資について学ぶクラブがあっても良い。

委員

サウンドスタジオができるので軽音楽部のような、バンドができるような活動、ダンスとか演劇とか良いのではないか。

委員長

今までのような事業を行うとすれば、事業や予算のスクラップアンドビルドが必要である。

委員

恐竜やアイドルも関心が高い。

委員長

内容的には固まってきたので、予算措置と、それに対しての人の手配をどうするかということが課題である。そのためにもニーズの裏付けとしてアンケートが重要である。

委員

学校にアンケートを出すときに、生活の時間などで、「公民館を知っていますか」といった感じで説明をしていただけないか。

委員

今はタブレットが配布されており多くの依頼がある。それだけでかなり時間がかかるが5分以内でできるアンケートであればお願いできるのではないか。

委員

そうすると回答するのに時間がかからず直感的に回答できるような質問にする必要がある。記述式より選択肢にできるところは変えたい。

事務局

図書館で行ったアンケートは小学2年生から中学生までを対象にした。小学校低学年も含まれるのでフリガナを全部にふったそうである。

委員

設問は5問から10問にすべきである。

委員

選択肢の設問を多くするには、子どものニーズを把握しておく必要がある。具体的に挙げないとニーズをつかめない。例えば、スポーツならサッカーなのか卓球なのかで大きく違う。

委員長

それでは、今のご意見をもとにアンケートを事務局で修正していただき、再度委員の皆様からご意見をいただくようにしたい。

委員

小学生と中学生ではニーズが違うので、同じ設問にするのは難しいのではないかな。

事務局

以前にお配りした年間予定表では、2月に視察を行う予定としている。子どもが多く利用する参考施設として、武蔵野プレイスの資料をお配りしているが、視察場所は委員会で決定していただきたい。

委員長

音楽や学習のできるスペースもあり参考になると思う。次回は武蔵野プレイスに視察に行くことにしたいがいかがかな。

(出席委員了承)

事務局

それでは、次回の委員会では、武蔵野プレイスの視察をさせていただく。

次回開催日：令和6年2月27日

会 場：武蔵野プレイス